

# あおぞら



NPO 法人 あいかわ工房  
 広報 VOL.39 2017.04.01  
<http://aikawakoubou.tank.jp>  
 TEL 046-281-1157  
 発行責任者 熊谷直丈



## 東京タワー 健在

経済の高度成長期に建てられた 東京タワー

昭和33年に開業、電波の届く範囲(サービスエリア)を関東一円にすると333mの高さが必要だそうです。私はまだ高校生でした。出来たばかりで大混雑でした。渋谷区に住んでいて近いので、いつでも行けると思っっている内に、何十年も経ってしまいました。

4年前にあいかわ工房の屋外研修で東京タワーに行くことになって、初めて昇りました。当時は現在のよう高い所まで届くクレーン車は無かったので、この工事は大変な事だったでしょうね。

東京スカイツリーは東京タワーの倍近い634メートルもの高さ、技術の粋を集めての工事で素晴らしい出来栄です。横浜のランドマークタワーからこの両方のライトアップを見ることが出来ました。

今年の屋外研修は  
東京スカイツリーです

右がスカイツリーです  
左が東京タワーです





### 発注に貢献した企業への感謝状

就労継続支援の事業所は、利用者の皆さんへお支払いする工賃をアップする努力を常に求められています。

そのため、あいかわ工房では何社もの企業様からお仕事を戴いて、皆さんに仕事をして頂きお支払いする工賃を全国平均の約2倍ほどの所まで来ていますが、まだまだ一般就労の水準には程遠い金額です。

県でも力を入れて、お仕事を下さる企業様に過去5年間の内百万円以上の発注を2年以上継続して居られる場合、県知事名での感謝状を贈呈する基準があります。

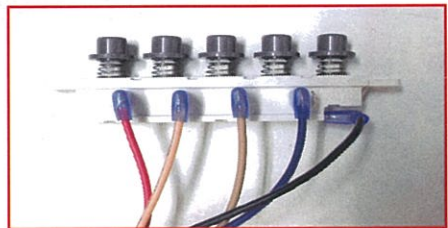
今回、(株)ミカワ様が該当するので推薦をさせて頂いて、審査に合格して2月9日に横浜の開港記念会館で贈呈式があり、(株)ミカワの社長様が受けられました。

あいかわ工房の発足当時から、元町議会議員の会長のご厚意でお仕事を頂き、障がい者には少し難しい仕事を社長様が丁寧にご指導下さって、今日につながりました。

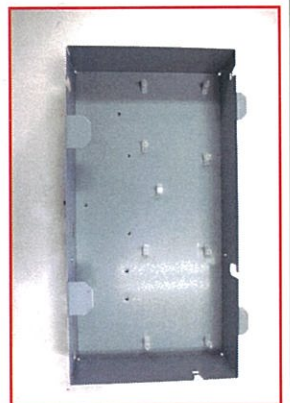
改めまして、利用者、職員、みなまでお祝いを申し上げますと共に、感謝申し上げます。これからもしっかりと仕事をさせていただきますので宜しくお願い致します。



一昨年には、都市環境サービス(株)様を推薦させて頂き、感謝状をお受け頂きました。継続して沢山のお仕事を戴いております。



(株)ミカワ様から  
頂くお仕事



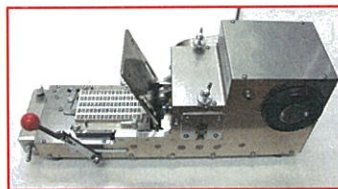


### 異業種交流会に参加

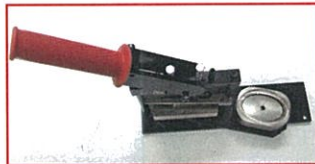
2月22日 愛甲商工会の主催で異業種交流会が開催されました。昨年、の屋外研修でくりはま花の国から三笠公園に行った時にバスをお願いした、カミコー様から名刺への点字印刷の注文を頂きました。名刺への点字印刷機を購入しましたので、皆様のご注文をお待ちしております。



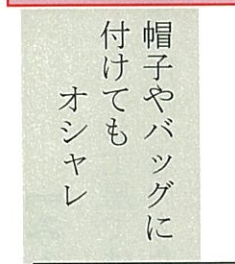
缶バッジ製造機 4サイズ兼用



名刺 点字印刷機



楕円バッジ専用機



### 缶バッジの製造販売を始めました

愛川町の観光キャラクター あいちゃんマークの使用承認を戴いて、デザイナー小田晃子様にデザインして頂き、缶バッジの製造販売を始めました。

イベントなどで、その場で写真を撮ってデザインの中にはめ込んで、缶バッジを作れます。世界に一つの缶バッジです。会社名や顔写真を入れたり、周年記念の配布など用途は沢山ありますので、ご相談下さい。

趣味のサークルでの旅行に付けると一段と格が上がります。

あいちゃんマークは37種類ありますから、好きなデザインを選んで下さい。写真はプリントしたものでOK!!

サイズは25 31 40 54 ミリ  
楕円形のデザインを近日公開します  
31ミリはマグネット付もあります

帽子やバッグに付けても  
オシャレ

お問い合わせは 046-281-1157

### 小沼久様より

寄付を頂きました

昨年12月20日に一万円の寄付を頂きました。この地区の担当ではありませんが、民生委員児童委員を務められ、毎年のご寄付を頂戴しております。有難うございます。

### ソロプチミスト愛川様

より寄付金を頂きました

1月21日ソロプチミスト愛川様の認証20周年記念行事に招待を頂き、五万円の寄付を頂戴いたしました。大事に使わせて頂きます。有難うございます。

### 澤田京子様より

寄付を頂きました

社会福祉協議会様経由で、一万五千円の寄付を頂戴いたしました。3月10日に利用者、職員と昼食を頂きながらの懇親会に使わせて頂きました。澤田京子様には毎年ご寄付頂きまして、有難うございます。

### 湘南ビジネスコンサルタント

岡谷俊男様より寄付を頂きました

3月28日に一万円の寄付を頂戴致しました。経理全般にいつもお世話になっております。有難うございました。



## 福祉フォーラムに参加しました

3月11日 障がい者理解促進活動をNPO法人地域生活支援の会あいさんが主催で、午前の部をバリアフリー映画『みんなの学校』を全員で観に参加しました。皆さん感動していました。

午後は障害者差別解消法についての講演とシンポジウムを、愛川町障がい者協議会と共催で行いました。

実際に障がいのある方とご家族に障がいのある方が、困りごとや差別を受けたことなどを話されて、とても参考になりました。

普段、町中でお見受けしてもどうお手伝いして良いか判らずにそのままになってしまったりします。

健常者は障がい者にもっと関わって障がいを理解することと、障がい者は自分の障がい発信することで、理解が深まると思います。

シンポジストとして皆さんの前に出られてお話をするには、大変勇気のいることだったと思います。あいかわ工房では中屋さんが出られました。

お疲れ様でした、そして有難うございました。



## 『みんなの時間』を作りました

あいかわ工房では、身体障がい者と知的障がい者、それに精神障がい者の方たちが通所しています。

地域作業所の頃は、単に仲良しクラブで、おしゃべりや勝手な行動が多かったのですが、就労継続支援の事業所だから、仕事を主にして適応訓練をするようにして、皆さん素晴らしい成果を出しています。

でも、時々お互いの障がいを知らないために、小さな衝突が起こります。また、同じフロアなので通路でぶつかることもあります。大きなけがにはなりません危険があります。

小さな親切が大きな迷惑になる方もおられます。

そこで、2月10日から毎月第2金曜日の午後から、『みんなの時間』を開くことにしました。

自宅とあいかわ工房の往復で、休み時間も交流が少なく、決まった人しか会話がないのでは、社会適応が難しいのでこんな時間を作って、3グループに分かれて、最初は自己紹介をしました。一回目はみんな緊張してあまり話をしませんでした。2回目に澤田京子様からご寄付頂いた分にあいかわ工房で不足分を出して、お弁当を食べながらの楽しい時間としましたら、それぞれにお話が出てみんなが少しずつ相手のことが判るようになって来そうです。

こんな内容でグループも組み替えたりして、何回か続けて行く内に皆さんからのやりたい希望が出てくると思います。そうしたらワークショップの形もとって、広げて行きたいと思っています。



休日の過ごし方 2月10日

- ・ポケモンGOをしている
- ・教会に行っている
- ・三輪車でお買い物に出る
- ・テレビを見ている
- ・食べ歩きをする
- ・サッカーを観に行く
- ・競馬に行く
- ・野球を観に行く
- ・好きなアーティストのコンサートに行く
- ・オカルトの本やDVDを見る
- ・ギザギザのある10円玉を集める  
等々



学生時代の思い出 3月10日

- ・授業でセメントのタイルを作ったのが楽しかった
- ・空手部に所属していた
- ・喧嘩ばかりしていた
- ・文化祭・修学旅行が楽しかった
- ・水泳部で地獄の合宿があった
- ・おとなしくて人見知りが強かった
- ・バイト三昧だった
- ・野球部に所属していた
- ・Tボールをやっていて、ショートで4番だった

等々

前回より活発に話が出て、『いじめられていた』という声もありました。

普段口の重い人も、周りの人が話していると、話を始めてくれました。



職員も一緒になって話をします。グループは毎回メンバーが変わるようにして、多くの人に接することが出来るようにします。



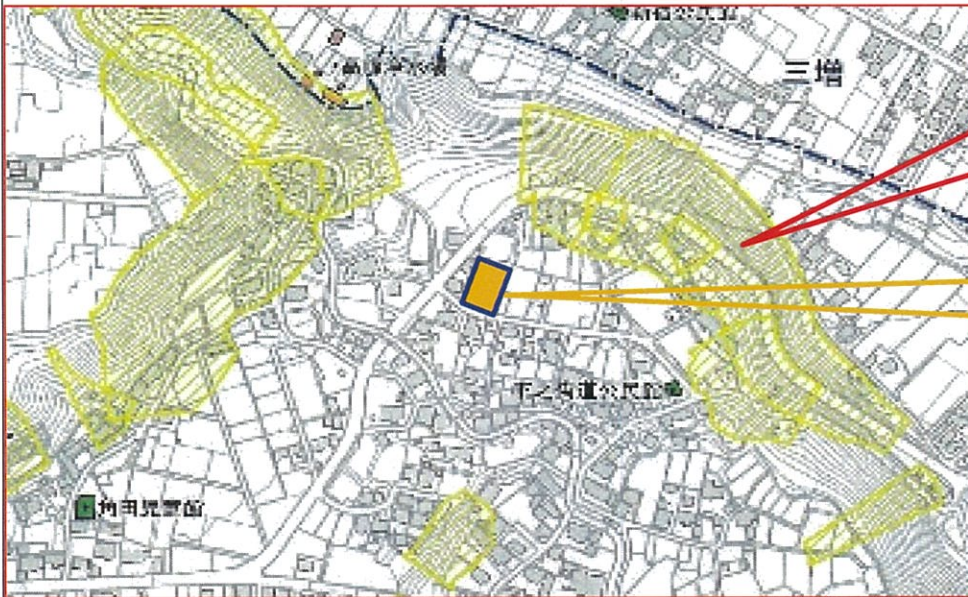
年度末になると、色々な行事や研修が入って来ます。また多くの展示会の案内も来ます。

その中で、震災対策技術展がパシフィコ横浜で行われたので行ってきました。

耐震や免振の技術から、災害時の飲料水確保のための、浄化装置、それ自体はかなり前からありますが、コンパクトに、性能も良くなっています。非常食から大きなビルの免振装置まで何時間も見入っていました。

また、相模大野では、ロボット展が開催されて、大型重機に取り付けるものから、福祉関係では食事を口まで運んでくれるもの、部屋置きのもので水洗式のもの、介護の補助ロボットなど発売されているもの、開発中のものなど、こちらの展示会も興味をひくものも多く、大変勉強になりました。

3月1日には水害・土砂災害への備えに関する要配慮者利用施設の管理者向け講習会が県民ホールであり、参加して来ました。本気で対策を考えなければなりません。



黄色の車線部分は土砂災害警戒区域(急傾斜地の崩壊)指定予定区域になっています

あいかわ工房

あいかわ工房の広域避難場所は愛川高校になっていますが、この地区の土砂災害警戒区域を通らなければ行けませんし、坂道なので利用者の皆さんを連れて避難することは難しい位置関係です。

でも、幸いなことに昨年は大家さんの成井様のご厚意で、駐車場を広くお借りすることが出来たので、災害時には建物の中で避難しきれない場合には、駐車場にテントを張るような計画を立てることが出来ます。

建物も平屋建てで、屋根も軽く、堅牢にできていたのでかなりな安全性はあります。出火の原因になる裸火は使用していません。発電機・仮設トイレ・テントなどを毎年計画的に整備しています。

今年を利用者の皆さんが、ご自宅に居る時に災害が発生することを想定して皆さんの家が出ているハザードマップで、お一人ずつの対策をお手伝いしたいと思います。

### 今年の屋外研修

一面の東京タワーの所で触れました、東京スカイツリーに行きます。福祉バスが5月22日に抽選で使用できることになりました。皆さんと相談した結果、浅草の仲見世を少しだけ歩いて、ホテルで食事をしてからスカイツリーに昇ります。眺めの良い晴天になることを祈りましょう。

### 印刷の仕事頂きました

福祉支援課より28年度は封筒の印刷を一万二千枚・A4印刷ファイル綴じ込み94ページを二百冊頂きました。有難うございます。

### 編集後記

真新しいランドセルを背負って桜の下を児童が行きます。戦災で何もない中、母の手縫いのカバンを持つての入学式も桜が咲いていました。その一年生の時のクラス会が続いています。人との出会い、語らいは大切なもの、この仕事に就いてから特に感じます。話し合いを大切に、気持ちに通じることを心がけています。

今年も桜を見ながら遠い昔を懐かしみ、友との再会が楽しみです。

熊谷

